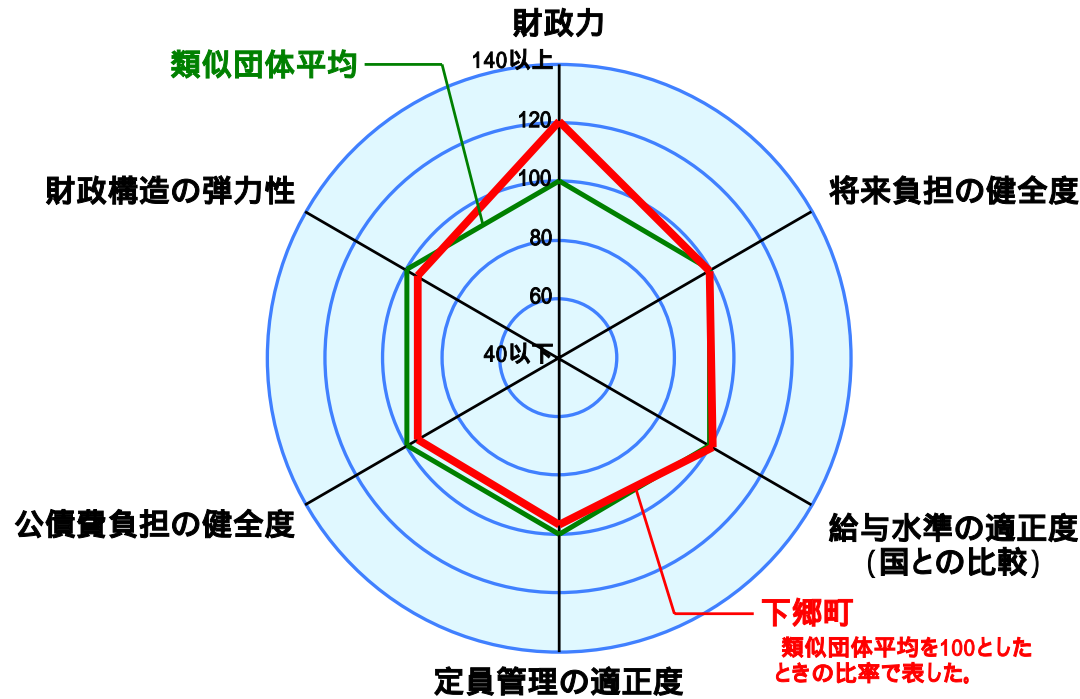
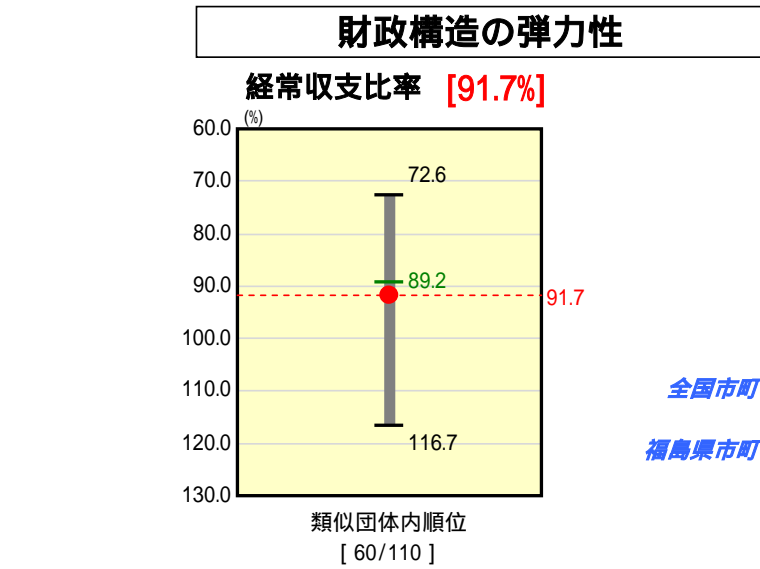
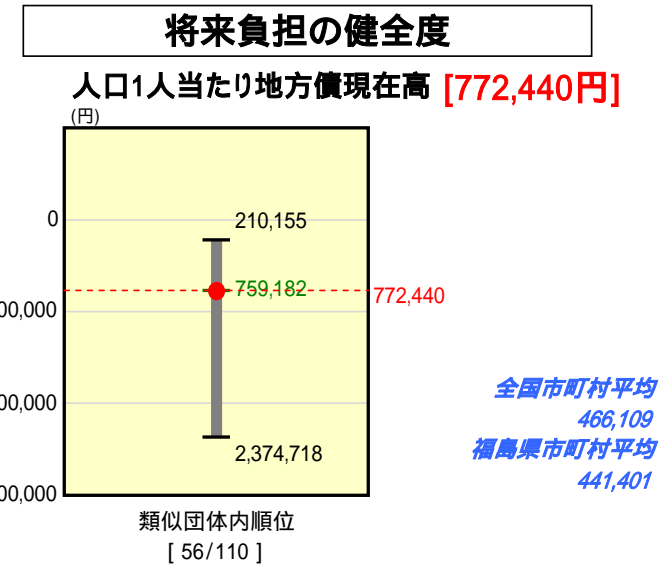
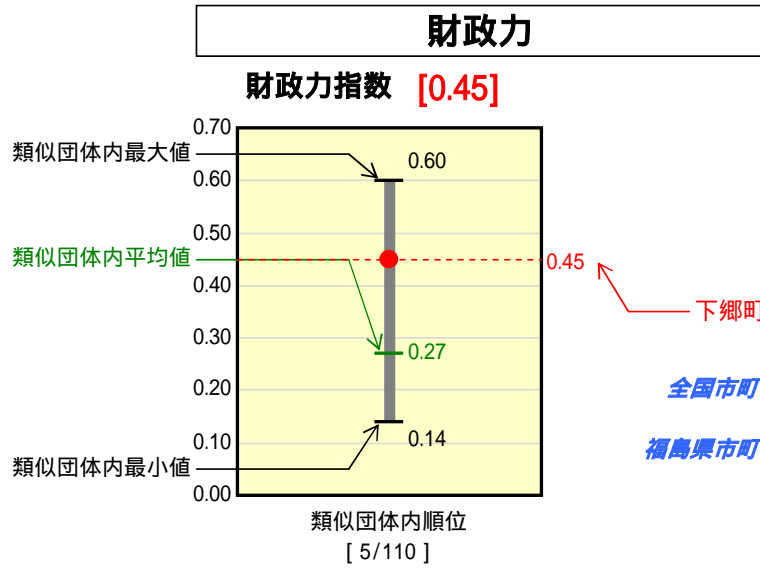


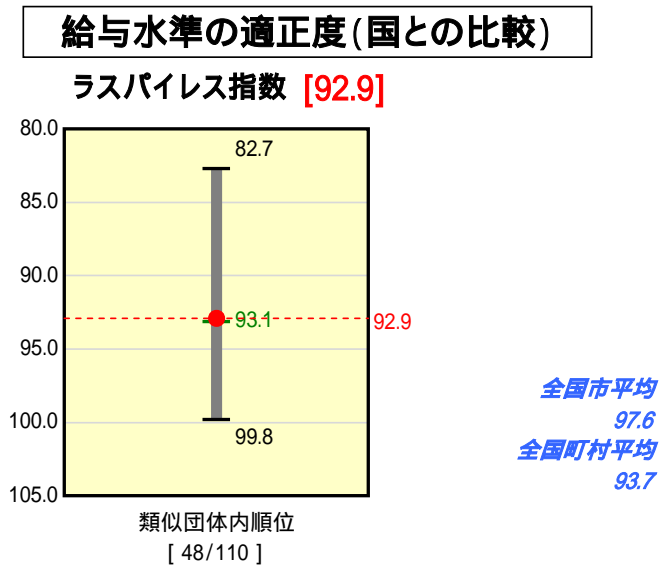
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 下郷町

人口	7,458人(H17.3.31現在)
面積	317.09 km ²
歳入総額	4,867,604 千円
歳出総額	4,718,985 千円
実質収支	148,619 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数: 直近数年間微増しており、類似団体平均を上回る0.45となった。
町税の54%を占めるダムからの固定資産税収入が大きな影響を及ぼしているが、今後償却の進展による減収が見込まれるため、税徴収率の一層の向上(16年度97.5%)に取り組むとともに、定員管理の適正化、大規模事業の選別等により水準の維持に努める。

経常収支比率: 減税補てん債の一括償還による一時的要因の影響もあり類似団体平均を超える数値となった。町行政改革大綱に基づき、平成21年度までに補助金の抑制や時間外手当の30%以上の削減等、経費の節減と収入の増に努め、水準の改善を図っていく。

起債制限比率: 普通建設事業に係る起債の償還により類似団体平均を上回る数値となっているが、16年度が償還額のピークであり、今後は減少に転じる見込みである。また大規模事業計画を整理・選別し、新規起債額の抑制と適切な起債管理を行う。

人口一人当たり地方債現在高: 類似団体平均を上回っているが、主な要因としては平成7年度のふれあいセンターの建設に係る起債等である。償還終了地方債の増により以後減少に転ずる見込みだが、今後の起債についても事業計画の選別により抑制を図っていく。

ラスパイレス指数: 類似団体平均を若干下回っているが、今後も継続的に見直しの検討を行い、より一層の給与の適正化に努める。

人口1,000人当たり職員数: 類似団体平均を上回る数値となっているが、総務省通知による定員適正化計画に基づく退職補充の抑制や外部委託の導入により、17年度以降6年間で職員数を13人削減する。

